

令和7年度（2025）

学校関係者評価委員会（議事録）

学校法人 穴吹学園

専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ

## 令和7年度 学校関係者評価委員会

日 時：令和7年12月17日（木）17時～18時

場 所：専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジ（高松市西の丸町14-10）  
201教室

### 1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて、専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジの自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジが行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

### 2. 学校関係者評価委員会（委員一覧）

（委員）

森川 崇	香川県立観音寺中央高等学校 元校長
詫間 裕一	香川県立飯山高等学校 校長
植田 真治	香川県洋菓子協会 会長
松本 ムツ子	香川県介護福祉士会 理事
新見 みゆき	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 保護者会 支部長 （別日程対応）
長谷川 直子	学校法人 穴吹学園 卒業生 （別日程対応）

（学校教職員）

鏡原 寿吉	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 校長
戸倉 潤也	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 副校長
渡辺 宏子	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 主任
金井 太佑	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 主任
松村 雅史	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ

### 3. 鏡原学校長挨拶

令和8年4月からの学校再編の経緯及びメリットについて  
各学科の状況・学生募集状況について  
就職状況について

#### 4. 議題

##### (1) 自己評価結果の説明・報告（自己評価報告書参照）

1. 教育理念、目的について
2. 令和6年度の目標と計画について
3. 評価項目別評価結果

##### ①教育理念・目的・育成人材像【評価A】

- 理念を定め、広く周知しているか

→ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシーが記述されたカリキュラムブックを入学希望者に幅広く配布した。

→教育理念・建学の精神が記述された学校案内パンフレットを入学希望者に幅広く配布した。

##### ②学校運営【評価A】

- 運営方針を教職員に周知しているか

→教職員大会にて本年度の運営方針が周知されている。

- 事業計画を作成し、執行しているか

→運営方針に沿って事業計画、年度予算を決定し運営している。

- 業務の効率化を図っているか

→各教員に1台のPCを配備し、グループウェア（desknet's）及び学内統合システム（S-Wing）を業務に活用している。

##### ③教育活動【評価A】

- 教育課程（カリキュラム）は明文化されているか

→カリキュラムは学生便覧に掲載。シラバス、コマシラバスを学生に配布し「授業の学び」を明確にした上で講義を実施している。

- キャリア教育・職業教育を実施しているか

→感染対策を徹底した上で施設、園と連携し可能な限りでの現場実習を実施した。

- 授業改善への取り組み

→Webex、Google meetを用いたオンライン授業を実施した。

授業実施後に授業評価アンケートを実施し授業改善に務めた。

- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか

→入学時オリエンテーションにて学生便覧を用いて説明している。

留学生には学生便覧にルビを付け配布している。

- 成績評価等を適正に行っているか

→各科目のシラバスに記入されている評価基準で適切に評価されている。

単位認定、進級、卒業判定会議を実施している。

- 資格・免許取得のための指導体制がありますか

→正規授業時間および時間外で国家試験対策講座を実施した。

介護福祉学科に在籍する留学生の日本語レベルで国家試験対策授業は難しい面が多々見られた。介護福祉士国家試験合格率日本人90%、留学生44%、全体52%。

パティシエ・ベーカリー学科は製菓衛生師国家試験で100%の全員合格。

定期的に国家試験対策会議を実施し、模擬試験のデータ分析を行って対策に努めた。

- 地域と協力連携した教育を行っていますか  
→感染予防対策を実施し、校外実習、インターンシップ等は実施した。
- 地域の特性を活かした教育を行っているか。  
→高松北警察署交通課に依頼し交通安全教室を開催している。  
→レアスイートについての授業を実施している。  
→生活支援技術の実習では香川県の郷土料理の調理実習を実施している。

#### ④学習成果【評価A】

- 資格・免許取得率の向上に向けての取り組みを行っているか  
→介護福祉士  
介護福祉学科は62名が受験し、(留学生52名・日本人10名)計32名が合格  
全体：32／62名(合格率51.6%) 昨年48.8%  
留学生：23／52名(合格率44.2%) 昨年22.2%  
日本人：9／10人(合格率90.0%) 昨年93.7%  
留学生については日本語教育も実施していく。  
今後は模擬試験を実施し学生個々の状況を把握した上で対策講座を実施していきたい。  
→保育士・幼稚園教諭2種(取得率100%)  
→製菓衛生師(合格率100%) 24名中24名が合格

#### ⑤学習支援【評価A】

- 退学率の低減が図られているか  
→学校と保護者が協力・連携を図っていく。  
介護福祉学科 退学者数 1名  
こども保育学科 退学者数 2名  
パティシエ・ベーカリー学科 退学者数 2名  
(理由)進路変更 2名、精神的理由 2名、経済的理由 1名。
- 就職等進路に対する支援体制は整備されていますか  
→就職キャリアセンターが設置され、専任の職員と担任が連携し保護者を交えて就職支援を実施している。
- 学生相談に関する体制は整備されているか  
→問題を抱えている学生の割合が増えているため、担任が定期的に面談を実施している。  
また、非常勤講師とも連携しクラス状況の把握にも努めている。  
→令和5年度よりスクールカウンセラー(常勤)を採用。
- 卒業生の動向を把握しているか  
→卒業時の進路状況は実習先に巡回した際に確認をしている。今後定期的に把握していく。

#### ⑥教育環境【評価A】

- 教育上、必要かつ十分な施設整備が整備されていますか  
→関係する法令に適合し教育上十分な環境の設備が配置されている。
- 防災訓練等を実施していますか  
→学校独自で年2回防災訓練を実施している。

⑦学生募集と受入れ【評価A】

- 学生募集活動を積極的、かつ効果的に行っていますか  
→広報部と連携し全教職員で学生募集活動を展開した。  
→学生募集実績  
令和6年度（募集実績:令和7年度入学者）  
入学者85名（委託訓練生3名を含む）：目標比85%（目標100名）
- 社会人入学生の獲得に向け、対策を講じてますか  
→県立高等技術学校から介護福祉学科・こども保育学科に委託訓練生を受け入れている。  
令和3年度より県内各ハローワークを訪問しており、委託訓練生の獲得に繋げた。

⑧財務【評価A】

- 収支と支出のバランスは取れているか  
→経営会議等にて定期的に財務状況の把握と検討が行われている。

⑨法令等の遵守【評価A】

- 適正な運営がされているか  
→コンプライアンス室を設置し、法令順守に務めている。

⑩社会貢献・地域貢献

- 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか  
→近隣道路の清掃活動（マイロード）を実施した。

5. その他事項

特になし

6. 質疑応答

森川委員

卒業生アンケートについて学科ごとに分析はできているのか、傾向は？

→各学科のアンケート結果を取っており、学科固有の傾向についてはそれぞれで対応を行っている。

目標と計画について入学生募集から、能力を上げる事にシフトしているのはとても良いと感じた。

→来てもらった学生をいかに育て社会に輩出するのか、成長させることが1番だと考え見直しを行った。

詫間委員

非認知能力などでもあるが主体的に学ぶことについての具体的な取り組みは？

→好きな分野で好きなことを徹底的に拘り伸ばしている。

非認知能力にも取り組んでいる。自己肯定感が低いので得意分野で自信をつけることができるように取り組んでいる。また互いに意見が違う中でコミュニケーション力をつけてもらえるように取り組みを行っている。

教員にも非認知能力を育てる力を身につけさせるような取り組みも行っている。

植田委員

非認知能力の向上や製菓衛生師 100%は業界としても感謝しているが、退学者する学生が気になる。アルバイトもそうだが、最近の傾向として入職しても続かない場合が多いように感じている。自信がないというところが顕著に見られているように思う。

→学校としても学生の変化に早く気づくようにしており、教員も対応力の向上ができているが、様々なパターンが出ており、一通りの対応では結果を出すことが難しい。

グループ作業が苦手な学生が昨今増えてきているのは事実である。

好き嫌いについて発言してくる学生も増えて学内でも問題化している。

それでもメンバーを工夫しながらできるだけコミュニケーション能力を上げるようにはしている。学校でも練習できるようにしている。

松本委員

自分で考えることの大切さを教えて欲しい。現場の介護職員も介護技術を教えているが、基本的な技術だけではなく、その先の事を考えて欲しいと伝えている。状態に合わせた介護ができる考える力を持った介護福祉士が増えてほしいと願っている。

以上